

科目名		
統合系科目IV(感染制御学・疾患遺伝子学)H19年入学者用		
英語名		
Overview in Dentistry IV		
授業形態	単位数	開講期
講義・演習	11.5	11-12期
担当教員		担当教員所属
小松澤 均 単位認定教授：小松澤 均		口腔微生物学 他
連絡先 (TEL)		連絡先 (MAIL)
099-275-6150		hkomatsu@dent.kagoshima-u.ac.jp (口腔細菌) : semba@dent.kagoshima-u.ac.jp (口腔病理) :
オフィスアワ -		
原則として授業日の17:00~18:00とするが、それ以外でも適宜対応する。		
キーワード		
院内感染、薬剤耐性菌、感染制御、遺伝子診断		
学習目標		
感染制御および疾患の原因となる遺伝子について概説できる。		
授業概要		
感染制御学では実際に病院内で問題となる感染症についての知識・理解を深め、院内感染菌対策についての具体的な方策を学ぶ。特に歯科領域に関連した感染制御についてより詳細に理解を深める。 疾患遺伝子学では今日までに飛躍的に進歩した遺伝子技術を用いた治療・診断について理解する。特に歯科領域に関連した歯周病、口腔疾患、細菌感染症について遺伝子面からの知識・理解を深める。		
授業計画		
1 感染制御学概論	講義	口腔細菌
2 院内感染菌 (薬剤耐性菌)	講義	口腔細菌
3 歯科病院での院内感染対策 (総論)	講義	口腔細菌
4 一般歯科診療における院内感染対策	講義	予防歯科
5 口腔外科診療における院内感染対策	講義	口腔外科 1
6 疾患遺伝子学 (概論・遺伝子治療)	講義	口腔細菌
7 疾患遺伝子学 (遺伝子と歯周病)	講義	歯科保存 2
8 疾患遺伝子学 (遺伝子と口腔癌)	講義	口腔外科 1
9 疾患遺伝子学 (遺伝子病理)	講義	口腔病理
10 疾患遺伝子学 (病原細菌検査法)	講義	口腔細菌
予習・復習へのアドバイス		
毎回の授業にあたっては、講義テーマに該当する内容を参考書で予習すること。授業では、必要に応じてその回の内容についてのプリントを配るので、必要事項を適宜プリントに記入し授業の内容の理解に努めること。配布するプリントと参考書を活用して復習すること。		
教科書		
参考書		
口腔微生物学・免疫学 (医歯薬出版社)、戸田新細菌学 (南山堂)、解明病理学 (医歯薬出版)		
成績の評価基準		
感染制御学と疾患遺伝子学を含めた試験 (70%) と授業への参加態度・レポート等 (30%) により評価する。		
その他		
院内感染対策は临床上重要なことであるので、十分な知識・理解が必要である。また、近年の遺伝子技術の目覚ましい進歩により医療の場においても遺伝子治療・診断は必要不可欠のものとなってきている。本講義を通して感染制御・疾患遺伝子学の概要をしっかりと学んでもらいたい。		